



# 個室ユニット型施設 推進協ニュース

2025年  
(令和7年) 3月号  
NO. 211

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会  
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8  
ベネックスS-3 4階  
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213  
MAIL: info@suishinkyo.net

- 令和7年度ユニットケア研修計画 <2面>
- 介護大学から <2面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- 実地研修施設 ブログ掲載開始 <4面>
- 第2回ユニットケア研修推進事業合同会議 <2面>
- 施設紹介 (おもと園・沖縄県) <3面>
- 藤崎和子施設長 佐賀県知事より表彰 <4面>
- 事務局から <4面>
- 第4回執行委員会 <2面>
- 施設紹介 (フレンド神木二番館・神奈川県) <3面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>

赤枝会長は「赤枝真紀子会長は2月26日、自身が進める施設訪問の一環で、鹿児島県にある慈眼寺園を訪問した。また、推進協より藤村二郎理事(社会福祉法人久住会理事長)が同席した。

慈眼寺園は社会福祉法人愛人会が経営する80床のユニット型の特別養護老人ホーム(シヨート10床含む)で鹿児島市内にある。愛人の川島晴美副理事長は推進協の理事に就任している。また、同施設はユニットリーダー研修の実地研修施設として指定されており、ユニットケア研修の面でも推進協の事業に協力しているほか、川島麻貴施設長も同研修講師として協力している。

赤枝会長は藤村理事とユニット内を視察し、ユニットケアの現状についてユニットの職員らとも言葉交わした。居室内の視察では「個人の持ち物も多く居室内はよく整っていますね」と感想を述べ、キッチンについては「日々の使用感が良く出ています」と質の高さを話した。



左から赤枝真紀子会長、川島晴美副理事長、藤村二郎推進協理事、川島麻貴施設長

## 実地研修施設でも外国人材の活用を 赤枝会長施設訪問 慈眼寺園(鹿児島)

赤枝会長は「今、ユニットケアのみならず社会保険全体を取り巻く現状は厳しくこの施設も人材確保に苦労している。そうした中、外国人材も活用し実地研修施設として

愛人会は外国人材の活用にも力を入れている。グループの医療法人と共に、現在、インドネシア人29名を採用しており、介護福祉士の養成にも努めている。「インドネシア人は、地元の看護大学を卒業した者が多く、五か国語を話せる者や独学でN2を取った者もいる。今後必要に応じて増やしていきたい」と川島施設長は話す。一方で、これらの者のため、愛人会だけでも三軒の民間住宅を外国人用の社宅として用意するなど人材確保の包括的な戦略も用意している。

赤枝会長は「ユニットケアの現状は厳しくこの施設も人材確保に苦労している。そうした中、外国人材も活用し実地研修施設として



よく整った居室内



川島副理事長他慈眼寺園の職員と赤枝会長、藤村理事

高い水準を維持されているのは大変な努力の賜物」と慈眼寺園の取り組みを評価した。

一方で、厳しい経営環境の原因である現在の低い介護報酬の水準に関して、民間との人材獲得競争に負けないようにするには、慈眼寺園のような外国人材の活用と同時に、それを活かすためにも介護報酬に賃金スライド、物価スライドを導入すべきと訴える。民間の賃上げや諸物価等社会動向に連動して介護報酬が改定されるのが人材の安定確保につながり、経営の安心につながるという。



ユニットの職員と話す赤枝会長

厚生労働省老健局は介護職員の処遇改善、介護人材確保に向けた施策に関する通知を相次いで発出した。2月7日には24年度補正予算に盛り込まれた「介護人材確保・職場環境改善等事業」の実施要項を明らかにした。

介護職員等処遇改善加算を取得している介護施設・事業所に対して常勤職員1人当たり5万4000円相当の補助金(一時金)を支給する。補助額は1カ月の介護総報酬に交付率を掛けた金額。交付率はサービスタイプによって違い、特養は8・3%、老健は4・3%と定められた。

補助金は介護助手の募集経費や研修費などを含む「職場環境改善経費」と介護職員以外の賃金改善にも充てられる「人件費」に使うことができる。また支給には要件が課せられ、介護職員の業務洗い出しといった「現場の課題の見える化」などに向けた取り組みの実施ないし計画策定が求められる。

併せて老健局は同日、介護職員等処遇改善加算の「基本的な考え方」を示す通知を出した。同加算は介護職員に対して24年度に2・5%、25年度に2・0%のベースアップを行うための主な原資とされる。同通知では24年度の加算額の一部を25年度の賃金改善に充てる場合の取り扱い方法を示した。

また同加算の取得促進を目的に、25年度はキャリアパス要件の一部と環境改善要件に経過措置期間を設けることを周知した。

一方、推進協は2月21日、今年度第4回の介護保険委員会(藤村二郎委員長)を開き、処遇改善に

## 厚労省が示した介護人材確保の 補助金要綱について対応を議論 (介護保険委員会)

厚生労働省老健局は介護職員の処遇改善、介護人材確保に向けた施策に関する通知を相次いで発出した。2月7日には24年度補正予算に盛り込まれた「介護人材確保・職場環境改善等事業」の実施要項を明らかにした。

介護職員等処遇改善加算を取得している介護施設・事業所に対して常勤職員1人当たり5万4000円相当の補助金(一時金)を支給する。補助額は1カ月の介護総報酬に交付率を掛けた金額。交付率はサービスタイプによって違い、特養は8・3%、老健は4・3%と定められた。

(令和6年 介護報酬改定のポイント)

- ・ 人件費の引き上げスタンス  
→ 令和6年は2.5%相当、令和7年は2.0%相当
- ・ 処遇改善加算の見直し
- ・ 令和6年補正予算  
→ 介護職員一人当たり5万4千円相当の補助金交付

向けた厚労省の一連の動きについて議論した。前述の補助金に関して老健局通知はベアへの充当は想定しないが、生産性向上などで賃上げ余力が生まれるまでの「つなぎの原資」として使えらるという。

介護施設では人件費の高騰などでベア原資が消費され、25年度の賃上げは内部留保で対応せざるを得ないケースも少なくない。懸上忠寿事務局長は「算定の複雑さに加え、額の水準や補助金の性格が明確でない」と問題提起。藤村委員長は「24年度の2・5%、25年度の2・0%のベアでは足りないから補正予算で措置するのかもしれないが、ワンショット(一時金)でベアはできない。職員にどう説明するのかが難しい」と述べた。

懸上事務局長はさらに「最低賃金の引き上げには何ら条件がつけられていないのに、なぜ介護業界だけは生産性向上などの取り組みが要件として求められるのか」と述べ、賃金・物価スライドの導入が不可欠だと強調した。出席した委員からは「加算や補助金の使い道が細かく決められ、施設に合った給与設定や投資戦略が行えない。生産性が悪く、現場を疲弊させている。介護報酬改定は過去の状況に対応するだけで、今後3年間の経済予測に基づいた報酬、単価設定を行うという視点に全く欠けている」といった意見が出された。



# 令和7年度 管理者に実地研修を導入、実地研修施設も拡充へ

推進協は、ユニットケア研修に関する令和7年度の研修計画を固め、自治体に日程などの案を提示した。この後、自治体との委託契約の締結作業に入る予定としている。また、実地研修については、自治体に周知し、早期の未受講者解消に向けた取り組みを開始した。

## 新規事業で受講者の拡大を

ユニットケアリーダー研修の受講者については、12月に厚労省から示されたデータから全国レベルで見ても減少傾向が明らかとなっている。こうしたことを踏まえ、推進協としては、受講者の拡大が今後の重要課題ととらえており、そのためには、受講者アンケートなどで度々指摘されている研修事業に関する周知不足への本格的な対応が必要と判断している。

自治体との連携を通じた広報、及び独自広報の体系化による浸透の強化や拡がりを図るだけでなく、併せて新たな事業の広報も行うことで相乗効果の発揮を期待している。

## 令和7年度 ユニットケア研修のポイント

- 管理者研修は年4回実施（オンライン2回、集合方式2回）
- ユニットリーダー研修は年18回実施
- 管理者実地研修の創設
- 募集開始は4月1日。但し、実地研修は4,5月分を2月20日から前倒し実施中
- 期制を導入し、一年を6期に分けて分割募集
- 期毎に実地研修募集説明会開催し、その合間に自己診断研修会も開催
- 愛媛県、和歌山県、富山県は集中的に広報を実施

ている。これまで国が定める管理者研修では実地研修はなかったが、希望者に限定し、推進協独自事業との位置づけで、オプション研修として管理者実地研修（下記広告）を新規事業として創設し、研修日程と共に広報し相乗効果を狙う。特に、令和6年度、7年度に新たに委託契約が締結された愛媛県、和歌山県、富山県については、集中的に実施する。

## 実地研修未受講者への 対策実施中

ユニットケア研修事業は本来、自治体からの委託事業であるため、年度単位で契約が行われており、このため、一般的に年度の切り替えでは空白期間が生じがちとなる。一方で3月末には実地研修に関するコロナ禍対応の経過措置切れが見込まれており、実地研修未受講者の早期解消が大きな課題となっている。

こうしたことから推進協は、令和7年度については、自治体に対し未受講者対策としての事情を明らかにした上で、年間を通じ空白期間が極力生じないよう実地研修に限定しつつ、2月より、4、5月分の実地研修の受講募集を開始している。実地研修は、実際に施設を訪問するため、感染症リスクが高くなる冬場よりも春の方がリスクが低いこともメリットとしてある。

## ニーズに合わせて 実地研修施設の拡大が急務

推進協はまた、実地研修施設の拡大にも力を入れるとしている。これは実地研修の未受講者が多数いるだけでなく、ニーズとして地元施設を実地研修場所として選ぶケースが増えていることも一因。実地研修施設募集説明会と自

**管理者研修受講者  
オプション研修のお知らせ**  
実地研修の申し込みを開始しました！！

**受講対象者**  
○管理者研修受講済の者  
○実地研修を希望する者  
※ R6年度以前の者も対象となります

**実地研修の概要**  
・リーダー研修の「実地研修」への同行可能（リーダー研修受講者は3日間の参加ですが管理者は1日目のみ参加となります）  
・リーダーと同様の受講、意見交換も可能  
・管理者向けの助言あり  
・運営計画書等の事前提出資料なし

**申込は** 受講料 12000円  
推進協 交通費・宿泊費は自己負担

## 実地研修施設選定調査 大分と愛知の2施設が合格 第2回ユニットケア研修推進事業合同会議

また推進協では独自に、70点を超えても五つあるカテゴリーのうち一つでも60%未満の評価を受け

今年度第2回ユニットケア研修推進事業合同会議（杉原素子委員長）が2月28日、オンライン形式で開かれ、ユニットリーダー研修の実地研修施設選定調査に基づく合格が審議された。申請があった社会福祉法人松山会・特別養護老人ホーム緑風苑（大分県）と、社会福祉法人等生会・特別養護老人ホームかくれんぼ（名古屋市の2施設）の合格が承認された。

施設でのユニットケアの定着度合いを自ら測定する方法を学ぶ自己診断研修会を組み合わせて年間4回計画的に開催し、この広報もユニットケア研修事業とセットで行い相乗効果を狙う。特に実地研修施設が一つもない自治体の解消に力を入れる。北海道、青森県、岩

**【新たに実地研修施設に選定された施設】**

愛知県	社会福祉法人 特別養護老人ホームかくれんぼ 愛知県名古屋市北区金城町4丁目47番地の2
大分県	社会福祉法人松山会 特別養護老人ホーム緑風苑 大分県大分市下郡山の手2番17号

針を文書で表明することにより、合格とする取り扱いを行っている。同様に60%～70%未満の評価カテゴリーがある場合は「通常施設」とされ、調査員の指摘に真摯に対応することを求める旨の文書が合格通知書に添付される。審議終了後、出席者からは「地域の課題への対応に関する項目が必要ではないか」として、長年変わっていない選定調査票の項目の見直しを求める意見が出た。

手県、秋田県、山形県、福島県、群馬県、東京都、新潟県、山梨県、長野県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、宮崎県の28都道府県が対象。

## 株式会社推進協を統合へ 3月理事会に議案上程 第4回執行委員会

今年8月に迎える推進協20周年に向けては、会員施設への負担を考慮し、当初予定していた大規模な記念式典の開催を中止し、20周年記念誌の発行と「お祝いのため懇親会」の開催に変更する。赤枝眞紀子会長は「20周年のお祝いはコンパクトでも盛り上がる会にしたい。ぜひアイデアを寄せてほしい」と協力を求めた。出席者からは「赤枝（雄一）前会長をしのぶ会ができそうで良かった」といった意見が出された。

推進協は2月28日、今年度第4回の執行委員会を開き、3月10日の第4回理事会で審議する議案に関する事務局提案を了承した。同理事会には前回理事会（24年12月）以降の事業報告のほか、25年度事業計画▽25年度予算▽株式会社推進協の介護大学校業務を一

般社団法人へ移管し統合▽創立20周年式典の見直し等▽新規入会施設などが議案として諮られる。25年度の事業計画は今年度の事業内容をほぼ踏襲する。24年度介護報酬改定でユニットケア施設管理者研修が努力義務化されて受講者が増加傾向にあることから、現行の年3回開催を年4回へと拡充する。懸上忠寿事務局長は「対面の研修に手応えがある。管理者研修で受講者をつかみ、ユニットリーダー研修への参加、会員獲得へとつなげたい」と狙いを説明した。また6月13日に来年度第1回の個室ユニット型施設推進議員連盟総会が開かれることが周知された。

株式会社推進協については、20年の創設以来、介護大学校分校の設置数は伸びているが、赤字決算が続いている。今後、分校の人財養成に支障が生じないよう、介護大学校の機能を一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会に移管する。

介護大学校では、各分校を対象に令和7年度実務者研修開講についてのアンケートを行っている。開催回数・開講時期・講師派遣の有無、各分校のご要望や現状など把握しながら、円滑に研修が開催できるよう対応して参ります。

## 介護大学校から

介護大学校では、各分校を対象に令和7年度実務者研修開講についてのアンケートを行っている。開催回数・開講時期・講師派遣の有無、各分校のご要望や現状など把握しながら、円滑に研修が開催できるよう対応して参ります。

- 【第2期分校】  
▽しよなあさひが丘分校（愛知県）8月学級・令和7年3月21日（金）修了。
- ▽東雲の丘分校（沖縄県）開講に向け日程調整中。
- ▽飯島分校（秋田県）開講に向け日程調整中。
- 【第3期分校】  
▽湘南くすの木分校（神奈川県）令和7年6月19日（木）スクーリング開始。
- 【第4期分校】  
▽グリーンヒル八千代台分校（千葉県）令和7年3月6日（木）修了。  
▽あさくら苑分校（福井県）令和7年3月25日（火）修了。
- ▽ふあみいゆ行田分校（埼玉県）令和7年4月1日（火）開講。
- ▽みなみの苑分校（埼玉県）4月学級・令和7年4月1日（火）平日・休日グループ同時開講。
- 【第5期分校】  
▽ゆずの樹分校（千葉県）令和7年3月30日（日）修了。  
▽ふくろうの杜分校（岐阜県）令和7年8月14日（木）よりスクーリング開始。
- 【国家試験に合格した方へ】  
介護福祉士は「名称独占」の国家資格です。登録日から「介護福祉士」と称することができますので合格通知が届き次第、速やかに介護福祉士登録の手続きをしてください。
- 【第7期分校募集説明会について】  
2月13日開催の分校募集説明会に多数ご参加いただきありがとうございます。引き続き個別説明会も随時開催しております。





大型施設らしく建物内にはコンビニもある



建物の裏庭にある庭園

おもと園は、那覇空港から車でおよそ20分程度の那覇市天久というところにある。ほぼ那覇の中心部に位置し極めて便が良い。施設からは東シナ海、慶良間諸島が一望できる個室ユニット型施設である。

施設は大浜第一病院などと合築されており、4、5階に置かれている。居室は80人定員の個室ユニット方である。部屋は10畳相当の17・2㎡と広い。



建物全景

【施設紹介】



社会福祉法人おもと会  
特別養護老人ホーム

法人の強みを活かし、独自の地域包括ケアネットワークを形成、地域に貢献

おもと園



ユニットの様子

【法人紹介】  
おもと園を経営するおもと会グループは、昭和34（1959）年に大浜外科医院からスタートし、特別養護老人ホームおもと園は昭和63（1988）年に設立されている。おもと会グループは現在、沖縄県内において医療法人、社会福祉法人、学校法人により56以上の事業所を営んでいる。創設者は医師で元国会議員の大浜方栄氏（2014年没）。「健やかな社会をつくる」をグループに掲げ、介護保険前からの在宅医療介護の連携を図り、独自の地域包括ケアネット



呉屋徹施設長

トワークの構築を推進している。

【施設の特長】

最先端の医療を行っている病院と合築された施設らしく、介護業務の効率化のため、ノーリフトに取り組み、ケアカルテ、眠りスキャン、インカム、泡シャワーを導入している（呉屋徹施設長）とのこと。さらに、病院との合築を活かし看取りにも積極的に取り組んでおり、令和5年には16名について看取りケアを行っている。人材確保の面では外国人からの応募も多いという。また、外国人留学生の採用をし、おもと会グループの専門学校で人材養成するというルートが出来上がっている。

現在、グループ全体でフィリピン人も8人と多いがネパール人は18人と特に多く、このため、沖縄ネパール友好協会とはキャリア支援の連携協定を締結しているとのこと。



介護学生の見学（施設からの提供）

神奈川県 社会福祉法人三神会

地域密着型特別養護老人ホームフレンド神木二番館

～寄り添うことを大切に。思いやりの心で

「待つこと」「声をかけること」「共に過ごすこと」～



ユニットの取り組み紹介

【施設の紹介】  
溝の口駅より市バス・のりした橋下車徒歩3分と交通の便も良く緑に囲まれた地域密着型特別養護老人ホームです。神奈川県川崎市で唯一のリーダー研修実地研修施設として認定を頂き、随時、沢山の方々が研修にいらっしゃいます。また徒歩圏内には緑豊かな立東高根森林公園があり四季折々の表情を見せてくれます。つつじの名所神木山等覚院にも車で10分程の距離で毎年開花の頃になると遠足気分でお出かけを楽しみます。



【ぬか漬け】  
ある日仲良し3人組の入居者さんが「たまにはポリポリ音がするお漬物が食べたい」と話しているのを聞き、ぬか床に野菜を漬けて皆で食べようという事になりました。ぬかみその手入れは若かりし頃、毎日台所で行っていたこともあり、提案すると入居者の皆さんは大変喜んでくださり、やる気満々で「キュウリはまな板の上で塩をかけてゴロゴロさせるんだ」や「クギを一本入れておけば色がきれいに仕上がるんだわ」など実践で覚えた知識を出し合い盛り上がりつつありました。実際漬けていたのだと、普段あまり手の動きが良くない入居者さんも負けじと塩をもみ込んだりぎゅっぎゅとぬかに漬けてたりと、職員が驚く程の手際の良さで漬けていらつしました。次の日の夕食は美味しく漬かった漬物を楽しむ事が出来ました。



フレンド神木二番館 外観



【お誕生日のプレゼント】  
101歳のお誕生日プレゼントを何にするか頭を悩ませていたある日、入居者さんがテレビに映った黄色の鳥を見て「可愛いー！」と喜ぶ姿があり黄色の手乗りインコをプレゼントする案が浮上。上長の説得から始まり、ありとあらゆるペットショップやホームセンターを巡り黄色の手乗りインコを探しました。

迎えた当日、バースデーの歌と同時にプレゼントとご対面！最初は何？といった表情でしたが徐々に喜びと感動が溢れ出て涙を拭いながらも笑顔で喜んでくださいました。その日から新たな家族として、ユニットのアイドルとして生活しています。



施設紹介コーナー  
投稿原稿 募集中!

投稿料 1万円GET

投稿用紙のフォーマットへ必要事項を入れるだけ

詳細は推進協ニュース施設紹介担当書宛

Tel : 045-577-4212

Mail : info@suishinkyo.net





# 介護「ユース・ダイジェスト

1月26日～2月25日

■月1万円の給与アップ法案を野  
3党が国会提出(1月30日)

立憲民主党、日本維新の会、国民  
民主党は介護施設などで働く職  
員に月額1万円の処遇改善を行う  
ための「介護・障害福祉従事者処  
遇改善法案」を衆議院に提出した。

■厚労省 介護事業経営概況調査  
を5月に実施へ(1月30日)

介護給付費分科会の委員会に調  
査に関する案を示した。すべての  
サービスを対象に抽出方式で行わ  
れる。訪問系サービスの移動手段  
や時間などを尋ねる項目や、介護  
ロボットやICTなど介護テクノ  
ロジーの導入状況を把握するため  
の項目が新たに追加される。

■厚労省 LIFFEの利用者  
フィードバックを開始(1月31日)

24年度の介護報酬改定に伴って  
更新されたLIFFE(新LIFFE)  
について、昨年11月下旬から掲載  
が始まった事業所フィードバック  
に続き、各利用者の状態の変化が  
表示される「利用者フィードバッ  
ク」の掲載を開始した。

■経産省 介護による産業振興の  
検討会を立ち上げ(1月31日)

会の名称は「高齢者・介護関連  
サービスの産業振興に関する戦略検  
討会」。現役世代の介護負担減少  
に向けて介護サービスを振興し、  
同時に民間ビジネスとして成り立  
たせる環境作りを考える。経産省  
は既存の介護保険サービスの一部  
を保険外サービスで対応すること  
を論点の一つとして挙げた。

■東京都 アクティブな長寿社会  
実現に1250億円(1月31日)

25年度予算案を発表し、「いつ  
までも輝けるアクティブなChoi  
ju(長寿)社会の実現」に12  
49億円(昨年度比166億円増)  
を計上した。新規事業では、介護  
職員の昇給の在り方を検討する調  
査事業やケアマネジャーの再就業  
支援事業、中小の訪問介護事業所  
に対するEV車・EVバイクの導  
入支援事業などを盛り込んだ。

■厚労省 一部事業にデータ連携  
システム活用を要件化(2月7日)

24年度補正予算に盛り込まれた  
介護テクノロジ導入・協働化等  
支援事業について、居宅介護支援  
事業所や居宅サービス事業所が介  
護テクノロジに定着支援事業によ  
る補助を受ける場合、25年度中の  
ケアプランデータ連携システムの  
利用開始を要件とする予定である  
と周知した。

■厚労省 訪問介護支援事業の実  
施要項を公表(2月5日)

24年度補正予算に盛り込まれた  
訪問介護等サービス提供体制確保  
支援事業について具体的な支援額  
などを示した。中山間・離島地域  
の採用活動支援に30万円、同地域  
で働く経験の短いヘルパーの同行  
支援に1回5000円(30分以上)  
など。実費と比較して低いほうの  
金額が支給される。

■厚労省 「介護人材確保」補助  
金の実施要項を公表(2月7日)

24年度補正予算に盛り込まれた  
介護人材確保・職場環境改善等事  
業で、介護職員等処遇改善加算を  
取得している事業所に支給される  
補助金(常勤介護職員1人当たり  
5万4000円相当)について、  
サービスごとの交付率などを示し  
た。昨年12月の介護総報酬に交付  
率(特養は8.3%)を掛けた金額  
が支給され、職場環境改善費や  
人件費に充てることができる。

■厚労省 処遇改善加算の要件柔  
軟化の考え方を示す(2月7日)

介護職員等処遇改善加算の取得  
促進に向け、キャリアパス要件I  
・IIと職場環境要件について25年  
度中の整備を誓約した場合、同年  
度当初から要件を満たしたものと  
取り扱う考え方を示した。また介  
護人材確保・職場環境改善等事業  
の申請を行った場合、25年度は職  
場環境要件の適用が猶予される。

■厚労省 経営概況調査を今年5  
月に実施へ(2月13日)

次の介護保険制度改正と報酬改

定の基礎資料とする経営概況調査  
を今年5月に行うことを介護給付  
費分科会で提案した。新たな調査  
項目として、訪問系サービスの移  
動時間や手段、また介護ロボッ  
ト・ICT機器の導入状況が追加  
される。

■厚労省 介護施設のWiFi  
利用料は徴収可(2月13日)

特養などでインターネットやス  
マホなどの利用が広がっている状  
況から、WiFiが利用できる  
施設では利用料の徴収が可能であ  
ることを明確化するため、日常生  
活費に関するQ&Aを改正した。

■推進協 実地研修施設募集説明  
会を開催(2月18日)

今年度第4回目の開催。新たに  
二施設が参加した。実地研修施設  
の増が急務のため、来年度も計画  
的に実施する予定。

■厚労省 介護人材確保の補助金  
は速やかに活用を(2月18日)

今年度補正予算に盛り込まれた  
介護人材確保・職場環境改善事  
業による補助金(介護職員1人当  
たり5万4000円相当)につい  
てQ&A(第1版)を作成し、周  
知した。人件費の改善に充てる場  
合、介護事業所への緊急支援とい  
う趣旨から、可能な限り速やかに  
実施してほしいと明記した。

■福岡厚労相 高額療養費引き上  
げを一部見直し(2月18日)

年4回以上、高額療養費に該当  
する人の自己負担額を引き上げる  
政府案を凍結することを閣議後会  
見で表明した。

■厚労省 要介護認定の審査期間  
の目安を示す(2月20日)

認定審査期間が平均30日以内に  
収まっている市町村の取り組みを  
もとに、認定調査は依頼から7日  
以内に実施▽主治医意見書の入手  
は依頼から13日以内▽介護認定審  
査会の開催は認定調査票・主治医  
意見書がそろってから12日以内と  
いう各段階の目安日数を参考とし  
て周知する方針を示した。

## シルバーケア吉野ケ里 藤崎和子施設長 佐賀県知事表彰を受ける

1月24日、社会福祉法人敬愛会特  
別養護老人ホームシルバーケア吉  
野ケ里藤崎和子施設長(推進協佐賀  
支部長)が、多年にわたり社会福祉  
施設の施設長として利用者へ寄り添  
い、細やかなサポートに努め社会福  
祉の増進に貢献した功績が認められ  
佐賀県知事より表彰を受けた。



## ズバリ回答! 人事・労務のお悩み いまさら、生産性向上・・・?

【今月の相談内容】  
いまさらですが、生産性向上を施  
設としてどのように取り組んだらよ  
いのかわかりません。なにか取り  
組んだらよいのでしょうか?

【回答】  
介護施設における生産性向上は、  
一般企業(製造業・サービス業)と  
は異なる視点が求められます。一  
般企業では、「インプット(投入資源)  
を減らしながらアウトプット(成果)  
を増やす」ことが主な目的であり、  
生産ラインの自動化やプロセス改  
善、在庫管理の最適化などが実施さ  
れます。売上や利益、コスト削減と  
いった定量的な指標が評価の基準と  
なります。

一方、介護施設では「人のケア」  
を提供するため、単純な効率化では  
成り立たないでしょう。利用者の満  
足度や生活の質(QOL)、安全性、  
職員の働きやすさを総合的に向上さ  
せることが求められます。単に「一  
人当たりのケア件数を増やす」だけ  
では、サービスの質が低下し、事故

ユニットケアのモデル施設  
になりませんか?  
ユニットリーダー実地研修施設  
緊急募集!  
下記までお電話ください!!  
045-577-4212  
詳しくは >> suishinkyo.net

ダー実地研修施設として全国から  
実習生の受け入れを行ったことな  
どが要因となった。

リスクも高まるため、「本来の介  
護の質を維持・向上しながら効率  
化を図る」ということになってき  
ます。

介護施設の生産性向上には、業  
務の標準化、IT活用、職員の  
負担可視化、役割分担の明確化、  
人材育成、外部資源の活用が柱と  
なっています。標準化により業務  
のばらつきを減らし、ITを利活  
用して記録作業の負担を軽減する  
など予算も踏まえ取り組んでいく  
必要があります。見守り機器等の  
導入で職員の負担を分散し、作業  
時間分析で業務を最適化するなど  
もあるでしょう。さらに、職員研  
修や離職を防止しつつも、地域等  
と連携していくなど、介護の現場  
のみならず経営活動全般にも配慮  
が必要となってきます。介護保険  
最新情報vol.1352の14  
ページの「職場環境等の要件」⑰  
⑳のなかから取り組んでみては  
いかがでしょうか。



推進協監事・特定  
社会保険労務士  
栗田淳二

## 実地研修施設 ブログ掲載開始

推進協は、令和7年4月よ  
り各実地研修施設からの投稿  
ブログを掲載することとし  
た。優良な個室ユニット型施  
設として広く知ってもらいた  
め、施設でのイベント・来訪  
者・季節の変化・ユニットケ  
アを感じられた瞬間・設えな  
どを取り上げてほしいテーマ  
とし、各実地研修施設へ協力  
の依頼をした。また、ブログ  
が更新されていくことで、受  
講者の実地研修施設選定にも  
重要な材料となる。

掲載場所は、当会ホーム  
ページの「実地研修施設紹介」  
ページとなる。

## 事務局から

### 質問の心理学

心理学の本にただ質問をす  
るだけで相手を動かせること書  
いてあるのを読みました。

例えばAさんに「自転車を  
買う予定はありますか」と質  
問をする。すると半年以内に  
Aさんが自転車をかう確率が  
上がるというものです。質問  
をする場合としない場合で、  
物にもよりますが20%~40%  
増えるそうです。

誰かを動かしたいときに命  
令するのではなく、質問をし  
てみるというのを試してい  
かがでしょうか。(井田)

各種情報募集!  
皆様からの  
様々な情報を  
募集します。  
例: 県や市からの  
情報・その他  
ご連絡はこちらまで  
info@suishinkyo.net